

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [傾聴](#) | [傾聴トレーニング \(6\)](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

傾聴トレーニング (6)

「ほんものの傾聴」はどのようにすれば身につくのか？

諸富祥彦先生は、「傾聴の5ステップ式トレーニング」を推奨している。

第1ステップ

こころをこめて、ただひたすら 聴く

(6) 「くりかえし」を用いた応答

「くりかえし」とは、話し手の話の要点、たとえば話の中で何度もくり返し話されている点などをただそのまま、くり返して伝える応答法。

ペアでじゃんけんをして、勝ったほうが話し手、負けたほうが聴き手。

話し手は、「最近起きた、よかったこと、楽しかったこと」を5分間話し続ける。

聴き手は、これまで学んできた、視線、うなずき、あいづち、くり返しなどを用いて、ただひたすら、話を聴いていく。

話し手の話が長ければ、途中で話をさえぎってもいいので「くり返し」を入れていく。

「くり返し」はそんなに多くなくてもいい。

質問はなし。

意見や感想もなし。

心を込めて「ただひたすら、聴いていく」。

終わったら「ふり返り」をする。

話し手から、聴き手のよかった点を二つ、「できれば、もっと、こんなふうにしてくれたらよかった」という改善点を一つ、フィードバックする。

その後、役割を交代する。

フィードバックのときに、聴き手の学習につながらないため、どんな小さなことでもいいので、改善点を必ずひとつ伝えていくこと。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>> [一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

📄 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🛡️ 個人情報保護の取組みについて

🏠 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.